

(4枚)

NISA班 ← プレス対応T

プラント状況（本店レク）議事メモ

東京電力株式会社

12/17 18:50' 岩瀬班

取扱注意：公開不可

日時：平成 23 年 12 月 17 日（土）11:00～11:30

場所：東京電力本館 3 階大会議室

先方：記者約 10 名（カメラ 3 台）

当方：原子力・立地本部

原子力設備管理部

広報部

配布資料：

- 当社福島第一原子力発電所の事故状況及び事故進展の状況調査結果に関する事実関係資料等の提出に関する指示文書の受領について

[] よりプラント状況、配付資料に関して説明。

質疑：

Q. 三菱重工関係者が集団でノロウイルスに感染した件について、発症したのは 12 月 15 日の朝ということか。

A. その通り。

Q. 感染した作業員はどのような生活環境だったのか。

A. 感染原因や経路は不明。三菱重工関係者は分散して宿舎やホテルに宿泊しており、同じ食べ物を食べた可能性は低いと思われるが、現在調査中。昨日の時点で 52 名が同じ病状を訴えている。

Q. 52 名全員が同じバスに乗車していたのか。

A. 広野町にある三菱重工の事務所へバスによる通勤途中に集団でおう吐、下痢、発熱を発症したと、三菱重工より連絡を受けている。

Q. 52 名の元請け企業は三菱重工なのか。

A. その通り。アレバから発生する高濃度廃スラッジの貯蔵タンクの設置に関する工事を担当している。

Q. 発症は 12 月 15 日に集中しているのか。

A. 12 月 15 日～16 日にかけて発症が確認されている。今後増える可能性もある。

Q. 12 月 14 日に発症した方はいるのか。

A. 確認する。

Q. 入院した方はいるのか。

A. 3 名が入院中。その他の方は投薬や点滴などで回復に向かっている。

Q. 廃スラッジの貯蔵タンク設置工事には何人の作業員で行っているのか。また、今回の事案の発生によって、作業への支障はないのか。

A. 総作業員数については確認する。アレバ除染装置については現在停止しているため、復旧工程への特段の影響はない。

Q. 福島第一原子力発電所構内におけるトイレでの衛生管理を教えてほしい。

A. トイレについては免震重要棟のものを使用している。当社、協力企業へうがいや手洗いの徹底を周知している。

Q. 三菱重工関係者以外で感染した方はいないのか。

A. 現時点では社員、他の協力企業からは確認されていない。

Q. 保健所への届出は行ったのか。

A. 15日に三菱重工より、いわきと相双の保健所に届け出ている。

Q. 12月16日までに52名全員が事務所に集合したことがあるのか。

A. 宿舎はバラバラであるが、一度三菱重工の事務所に集合して発電所に出向している。全員が同時期に事務所で集まっているかについては確認できていない。

Q. 福島第一原子力発電所へは別々のバスで向かっていたのか。

A. 52名が同時期に集まっているが、事務所で集まつたかどうか確認できていない。

Q. 3号機HPCIに関しては中央制御室の運転員の判断で停止したことや吉田前所長へ操作状況が伝わっていなかったことが一部報道されているが、事実関係は判明したのか。

A. 12月16日に福島第一の事故状況、事故進展の状況調査に関する指示を原子力安全・保安院から受け、確認すべき4つの事項とその根拠を示す資料について、12月22日までに報告できるよう準備を進めている。3月13日の3号HPCIの停止については、事実関係を確認しているところで、報告書とあわせて取りまとめている。

Q. 今回の指示を受けて、再度聞き取りなどを行うのか。

A. 12月22日までに報告できるように資料を作成している段階であるが、不十分な部分があれば追加調査を行いたいと考えているが、今後のヒアリングについては未定。

Q. 感染者の宿泊先は全員同じなのか。

A. おそらく別々の宿舎だと思われる。それぞれの宿舎からバスが出ているのか、循環バスなのは確認する。

Q. 52名の中に三菱重工の社員はいないのか。

A. 三菱重工の社員と関連企業の社員と聞いている。

Q. 他の企業にも感染した方がいるのではないか。

A. 現在、同様の症状を訴えている方はいない。

Q. 52名の症状はどうか。

A. ほとんどの方は投薬や点滴などによって回復に向かっているが、下痢や発熱が続いている方もいる。

Q. タンクの設置作業はいつから中断しているのか。

A. 確認する。

Q. 52名全ての方が、入院しているのか。

A. 12月16日までに体調不良を訴えられた方は52名確認されているが、今後も増える可能性がある。全員入院していないが、投薬などで介抱し自宅で療養している人もいると聞いている。

Q. 15日に保健所へ届出しているとのことだが、公表が遅くなつたのはなぜか。

A. 検査の結果が判明し、発症者の人数も増えたことや、感染拡大防止の観点から三菱重工関係者の多くが一時的に現場を離れたこともあり、本日公表させていただいた。

Q. バスで最初に症状を訴えた人は何人いたのか。

A. 確認する。

Q. 一般市民で同様の症状は発生していないのか。

A. 確認できていない。まずは感染経路の確認をする必要があると考えている。15日に報告を受けた人数は35名、16日に報告を受けたのが17名で、合計52名となる。

Q. 発症者は同じ昼食を食べたのか。

A. 企業で手配するお弁当などもあるので、同じ昼食を食べた可能性はあるが、感染経路については調査中である。

Q. ノロウィルスは全員から検出されたのか。

A. 現時点では三菱重工の関連企業3名から検出されている。

Q. 検査は全員受けているのか。

A. 全員検査を行ったかについては確認できていない。

Q. 12月15日に35名体調が不良を訴えており、集団感染の疑いがあつた時点で公表するべきではないか。

A. 作業に直接起因しない発電所外で発生したことであり、状況を確認していた所である。今回、ノロウィルスが検出され、廃スラッジの貯蔵タンク設置工事が休工になることからお知らせしたもの。

Q. ノロウィルスが検出された3名以外の方についても、症状からするとノロウィルスへの感染ということでよいのか。

A. 検査状況も含めて確認する。ほとんどの方が下痢やおう吐を訴えているので、集団感染の可能性が高いと見ている。

Q. 集団感染への対策や、インフルエンザへの対策などは行っているのか。

A. 今回の事案については当社、協力企業の方にも情報周知しており、手洗いや消毒の励行を行っていきたいと考えている。1Fと2Fの弁当製造元に対しては衛生管理の徹底をお願いしている。またJVで食堂を運営している会社には定期的な巡回指導や徹底した食品の衛生管理を行っており、11月には産業医科大学のご支援のもと感染症対策などの衛生管理の徹底を呼びかけている。

以上